

# 凌霜ラガー通信

## 二部脱出めざして

# 監督・コーチ制がスタート

## 53年度 コーチングスタッフ決まる

大学の運動クラブ、とりわけチームプレーを中心とする運動クラブが強くなるには、今日、次の三つの要因が不可欠であると言われている。

- 1) 現役の意欲並びに努力
- 2) OBによる金銭面での援助
- 3) しっかりしたコーチング体制下での現役の指導

数年前から我が神戸大学ラグビー部でも、OB組織の強化の動きが顕著となり、OB名簿の作成、OB総会の開催等いくつかの事業が行なわれてきた。しかしながら肝腎の現役チームは今一歩のところまで二部に低迷している。

こういったことの原因としては何よりも現役の気力の不足、努力の不足、更には技術の不足が挙げられようが、先にみた、第二、第三の要因も見逃すことの出来ないものである。幸いにも、OB組織の強化と共に、OB一現役間の連絡も頻繁に行なわれるようになり、そのことによって、OB組織による金銭的援助の強化が徐々に進展拡充されつつある。

キャプテンの抱負にもあるように部員数は三十余名一新入生を加えると四十名を越えると思われる一を数え、またOBによる現役への金銭的援助一タックルマシン・バーベル等器具の購入、合宿費援助等一も強化されつつある現在、神戸大学ラグビー部に最も必要なのは確固としたコーチング体制であると思われる。現在関東の諸大学は言うに及ばず、関西一部リーグの八大学も全て、監督コーチ制を採用しているのである。また特に注意を要するのは、関西学院大学が監督コーチ制を導入して数年後に一部リーグに復帰した、ということである。

以上の様な状況の下で、監督・コーチ制の必要性が、OB及び現役の双方から叫ばれ、昨年度は室賀氏、寺西氏を中心にして、試験的な形で現役指導体制の導入が試みられた。しかし何分にも昨年度は初年度のことでもあり、またその責任体制も十分に整備されていなかったことから、不本意な成果しか上げられなかった。こういったことを反省した上で、今年度は監督・コーチ制が正式に採用され、しかもその責任体制が明確化されることとなった。53年度のコーチングスタッフは以下の通りである。

監督 室賀 隆

ヘッドコーチ 吉沢昌恭  
FWコーチ 田中俊明、西川隆一、中野功三  
バックスコーチ 和田博明、星川翼、山入端邦男

## シーズンの回顧と展望

室賀 隆 (昭43)

昨年度の現役戦績は、現役諸君の健闘にもかかわらず、残念ながら1勝7敗ということで、Bリーグ最下位に終り、(その後の入替戦でCリーグ優勝の立命館大に勝ち、辛うじてBリーグ残留を決めました。)我々コーチングスタッフとしては、紙面をお借りし、OB諸兄に指導不足をおわび申し上げる次第です。

簡単に昨年度をふり返りますと、夏合宿迄は、現役諸君のやる気とOBの指導がうまくかみ合い現役の技術は目に見えて上達し、夏合宿では、Bリーグ優勝の大教大にトライ数で5-0、Bリーグ3位の阪大に同じくトライ数で6-0(いずれも30分のハーフのみ)と完勝し、我々としては、一応Bリーグ優勝のメドがたったと判断する迄に成長致しました。

しかしリーグ戦に入ってから、コンディショニングの失敗から、緒戦の大教大戦を落し、以後連戦連敗という泥沼状態に陥り、遂に冒頭に述べた不本意な成績に終った次第であります。

昨年度不本意な成績に終った原因としては、次の様な点があげられると思います。すなわち

1. 現役の精神面の甘さ、
2. コンディショニングの失敗、
3. 故障者の続出、
4. 技術面の未熟さ、
5. 現役指導の不徹底

なお、今年度については、①昨年度のレギュラーから抜けるのはFW、BK各2名、計4名であり、特に昨年度弱体であったFW前5人からは、わずか1名しか抜けず、強いFWが期待できる。

②昨年終盤(リーグ最終戦及び入替え戦)では、随所で猛タックルが見られ、このファイトを持続し、かつ昨年度の不成績を薬にすれば、常に入替え戦並みの緊迫感をもって、練習・試合に臨むことが期待できる。という明るい材料もあり、かなりいけるのではないかと考えております。

我々コーチングスタッフは現在、Bリーグ優勝に向け、現役首脳陣と練習スケジュールの打ち合せを行ない、3月22日からの春のシーズンインに備えておりますので、OB諸兄におかれましても、なお一層の御指導御鞭撻を賜りますようお願いいし、拙文の結びと致します。

## 現役キャプテンの抱負

現役主将 小松規秀(工4)

ここ数年チーム力が上がり、ひょっとしたら一部入りも……と頑張ってきたのですが、シーズンに入ると成績が思うように伸びず、昨シーズンはとうとう二部最下位まで落ちてしまいました。

今年はコーチ陣の体制が整い、部員も目下のところ30名おり、さらに新入生が入部しますと、40名を超す大世帯になると思われれます。この恵まれた条件の下で今年こそ念願の一部入りを果たしたいと思います。ぜひともOBのみなさまの御協力をお願いしたいと存じます。

## 昭和52年度 現役リーグ戦戦績

9月11日	神大	20	—	44	大阪教育大
9月25日	神大	15	—	30	甲南大
10月22日	神大	13	—	24	追手門大
11月6日	神大	8	—	39	関西大
11月20日	神大	25	—	15	大阪大
11月27日	神大	3	—	44	近畿大
12月3日	神大	23	—	27	桃山学院大
12月10日	入替戦				
	神大	8	—	0	立命館大

## 昭和52年度 関西凌霜ラガー戦記

小玉康雄(昭39)

昨季は3試合を執行し得たが、日本経済と同様借入金に頼った実態、特に国債(現役)依存率の高い点が大いに反省される。

今後は純凌霜ラガーとして戦いたく、諸氏の選手登録及び集合をお願いします。

### 試合結果

- 10月16日 凌霜 16 — 10 住友銀行 於住銀G  
汗ばむ様な暖かさの下で両軍ハッスル。経験者を集めている住銀は攻守に粘り強く、借物の現役他の活躍なければ敗戦疑い無し。
- 11月13日 凌霜 18 — 8 市大OB 於市大G  
冷い雨中戦であったが、市大OBの特に高令者の意欲凄じく先制トライを含め前半は完全に圧倒された。後半は凌霜FWが立ち直り、個々の突進から逆転勝。
- 11月23日 凌霜 22 — 18 大阪ガスOB  
於大阪ガスG  
寒冷の為両軍の動き鈍く、精鋭バックスの揃った凌霜の勝利。SO和田氏の現役時代をしのぐスピードが光った。

## 東京支部近況報告

### 1) 第二回東京支部大会開催

東京支部発足一周年を記念して、2月21日東京凌霜クラブに会員39名が集い、第二回東京支部大会が開催されました。開会に先立ち、昨年12月10日死去された高商19回の永田泰先輩の御冥福を祈り一同黙禱を捧げました。

司会の松村氏(昭34)より昨年度の東京凌霜ラガークラブの活動報告がなされ、53年度支部長には全員の懇請によって、関寺寿一氏(昭3)に御留任頂く事に決定、同氏より“プレーをしても怪我をせぬ様、怪我をしても手当を怠るな”等のお話があり、引続き新役員の紹介がなされ、53年度は更に戦力の充実を計り、主将を始めとして、以

会長	関寺寿一(昭3)
部長	柏木昭二郎(昭26)
主将	原口重孝(昭43)
副主将	寺西直康(昭43)
主務	澤田泰明(昭34)
副主務	谷口寿一(昭41)
〃	中村次郎(昭43)

ついで、今里麟次郎大先輩(大15)の音頭にて乾杯、本部より特別参加の太田壺吾氏(昭27)から本部及び現役の最近の動向について報告がありました。以後、53年度の活動予定が話し合われ、新主将原口氏より、4月より毎月1回程度、対外試合を行ない度い旨の抱負があり、会員の中より先輩を招いての講演会、懇親ゴルフ会等を開催しては如何との提案も出ました。

古立広氏(昭10)、矢戸広慶氏(昭10)、甲斐素雄氏(昭12)及び水田利雄氏(昭12)等、諸先輩の思い出話に花が咲き、柏木昭二郎氏(昭26)の音頭にて、商神を合唱、原口グランドキャプテン(昭43)の発声によりエールをあげ、一同結束を固めると共に、士気を高め、閉会としました。

### 2) 52年度試合結果

3月21日	東京凌霜ラガークラブ	18	—	6	市川高校
4月24日	〃	6	—	20	三和銀行
8月28日	〃	42	—	6	富国生命
9月18日	〃	16	—	14	東京銀行
11月6日	〃	44	—	0	興亜火災

昭和52年度 会費納入者ご氏名

(53. 3. 10. 現在)

卒業年度	ご氏名	卒業年度	ご氏名	卒業年度	ご氏名
大12	名誉会員	昭21	岡田.梶原	昭38	三島.長谷川.堀本.本領.富士.松村
大14	磯林	昭22	三宅.森田	昭39	松下.小玉.野村.中重
大15	今里.田中.上田	昭23	伊東.今津.船曳.小林.風早	昭40	国沢.福田
昭2	北村	昭24	永井.田旗	昭41	石谷.井上.松村.谷口.深山
昭3	大纏.関寺	昭25	羽田.岡田.伊藤.木田.福井	昭42	佐々木.向井.永峰
昭4	浜崎.尾上	昭26	森岡.井谷.島村.榎崎.山本	昭43	室賀.島岡.中川.原口.寺西
昭5	小林.千歳	昭27	岡田.江村.小倉	昭44	矢野.中村.葉室.田畑.岩切
昭6		昭28	嘉納.辻本.柏木.柴田.木村	昭45	山岸.奥沢.阪本
昭7	中山.山本	昭29	杉浦.山崎.米華	昭46	田中.野中.脇.浅野
昭8	牧野	昭30	太田.山口.池田.藤井.柚木	昭47	和田.清水.芝谷
昭9	朝井.浜野.板野.川又.小栗	昭31	河野.河合.綾.村上.森本.	昭48	鷹尾.喜田.川口
昭10	辻	昭32	村本.坂口.瀬木.福田	昭49	尾上.並河.山田
昭11	古立	昭33	山本.子安.西松.木下	昭50	藤本.渡部.吉田.北野
昭12	杉山.清水	昭34	赤崎.井沢.横田.鎌倉	昭51	田中.森
昭13	国領.菊谷.田中.甲斐.水田	昭35	松本.小林.盤井.伊藤.永井	昭52	中芝.渡辺.森田.中野.吉沢
昭14	小池.飯島.南.渡辺	昭36	浅野.西松.荒谷.高塚		渊上.西川.家合.春日.吉川
昭15		昭37	野間.安中.小川.小出.大音		中沢
昭16	田中.吉見		野川.岸原.山下.浜田.竹村		河野.室.河島.星川.中崎
昭17	五島.山本.稲岡.能勢		松村.戸田.野村.村尾.塩谷		
昭18	村上.稲木.木水.武田.三宅		沢田		
昭19	妹尾.阿部		栗田.河島		
昭20	田中.根来.門田.渡辺(慎)		山口.土居.永田.松下.溝口		(以上 名)
	中田.金田		平井.久我.千歳.鍵野		

53年度 会費納入のお願い

本年も引き続き会費の納入をお願いします。  
会費は従来通り年間 3,000円です。

振込先 ★ 住友銀行天満橋支店 普通預金 №957978

★ 三和銀行大阪駅前支店 " № 27557

凌霜ラガークラブ (年会費 3,000円)

新入会員ご紹介

(氏名)	(自宅)	(勤務先)
山入端邦男	大阪市都島区毛馬町4丁目4-2 (06) 928-2719 〒 534	大日本印刷
磯江 憲夫	神戸市兵庫区松本通7丁目1-42 (078) 511-2793 〒 652	カラベルモン(株)
浜田 義幸	大阪市淀川区西中島1丁目1-1 (06) 303-7926 〒 532	住友銀行
中野 功三	大阪市旭区高殿3丁目17-8 (06) 951-3240 〒 535	
明慶 剛	神戸市東灘区田中町3丁目14-6 (078) 441-4200 〒 658	ダイコウ商事
田中 計久	堺市茶山台3丁目11-1 (0722) 97-1951 〒 590-01	
山野 正博	大阪市住吉区杉本町537 (06) 692-7446 〒 558	清水建設

53年度 運営委員候補氏名

本年度運営委員として下記の方々にご尽力願う  
予定です。

竹村 秀博 (昭33)
平井 匠 (昭37)
小玉 康雄 (昭39)
国沢 健一 (昭40)
深山 欣秀 (昭41)
室賀 隆 (昭43)
矢野 智 (昭43)
田畑 芳彦 (昭43)
野中 克己 (昭44)
清水 睦夫 (昭45)
阪下 喜治 (昭48)
田中 俊明 (昭49)
吉沢 昌恭 (昭50)
西川 隆一 (昭51)
星川 翼 (昭52)
山入端 邦男 (昭53)

53年度 現役スタッフ

主将 小松 規秀 (工・4) (06) 901-8571
副将 林 茂男 (工・4) (0729)23-3418
主務 西本 保 (農・4) (06) 312-0328

## ＜思い出のゲーム＞

## 一部リーグ入りへの過程

松下忠男(昭39)

4年生になって新チームを引継いだとき、プレー出来るメンバーは4年生3人、3年生2人、2年生8人の計13人しかいなく、春の練習試合第一回戦に関学と組んだところ、相手チームよりFW2名借りて試合をするというみじめな状態であった。新1年生入学のガイダンスの際、必死になって入部勧誘したように思うが、結局秋のシーズンに入っても20余名の小さな世帯であり、特にFWは最大の体格を要求されるロックが2人共165cm 60kg程度とチーム中最小のメンバーと笑い話のようなメンバー構成で、ラインアウトのキャッチャーには色々工夫をした。こんなチームが神戸大ラグビー一部リーグ入り、黄金時代の基礎を作ったのだから不思議である。ラグビーに対する取組姿勢のきびしさと、練習の中味の密度の濃かったことの成果と思うが、ボックスに岡田、佐々木と高校の全国大会でもエースであったプレイヤーの参加を得たことが原動力となった。

秋のシーズンは近畿体育大会の優勝を皮切りに、最大の目標である関西二部リーグ優勝、最後に三商大定期戦も15年振りに優勝と、文句のない成績に終わった。特に二部リーグでの優勝過程は、今から考えると2位経済大、3位近畿大に比較して実力はやや劣っていたようだが、その頃は全員勝つ意欲が充分であり、その精神力の差が物を云ったようだ。対近大戦での私のよもやと思われるコンバート成功、最終戦、全勝で来た経大に対して、FB、岡田の肉離れに苦しみながらの見事なドロップゴール、必死の経大FWに対するダンプ井上らの素晴らしい突っ込み、S・O佐々木の豪快なロングキック、ハーフ松村の相手FWを飛び越えるダイビングトライなど、今でも鮮明に浮かんで来るプレーに支えられた優勝であった。又その華やかなプレーの下で、向井、永峰、有末の小型1年生FWのがんばりは、より以上の賞讃に値するものである。当時のOBとして夏合宿での多々見先輩のご指導、秋シーズンでの松本先輩のチームプレー理論、山口先輩のガッツ精神などの援助もなつかしい思い出である。

その後、経済大が2年間、近畿大が4年間、一部リーグ入りが出来なかったことを考えると、翌年、丹羽先生のご尽力で一部リーグ入となった神

戸大はまさにラッキーであったと思う。一部リーグでの5年間は一般新聞のスポーツ欄の見出しになったことも幾度かあり、部創設以来初めて京都大に勝ったり、神戸大に関係のない神戸人のファンも出来たりした。残念なのはこの神戸大の強さが、わづか5年しか維持出来なかったことであり、これはひとえに我々OBの責任であると痛感すべきではないかと思う。

私は卒業後サラリーマンがてら7年程現役のプレーを見て来たが、監督、コーチなどというのは、経済的、労力的、時間的に大変な負担であるばかりか、現役との意思疎通を円滑に計ることがいかに難しいかを考えた場合、昨年来室賀君以下の面々の努力には感謝の念が止まない。

今回東京・大阪で凌霜ラグークラブが充実して来たことに際しても、せめて経済面で、現役とコーチに対する資金援助を最重点に考えて運営していただくようお願いと共に、特に一部リーグでプレーしたOB諸君、及び現役と一緒に釜の飯を食った若手OB諸君の現役指導をぜひお願いする。

## 総会予告

53年6月11日(日)

来る6月11日(日)凌霜ラグークラブ53年度総会を開催いたします。六甲台で交歓試合の後、神戸市内にて総会を予定しておりますので万障お繰合せの上、ご出席下さい。

尚、詳細は後日お知らせいたします。

## 編集後記

本OB会報もようやく第4号の発行にまでこぎつけるに到りました。第1号の発行以来試行錯誤の末ようやくにして、紙面構成・発行日時等の大枠について、編集者間で意見の一致を見、今後は編集者一同、紙面の一層の充実に努力する覚悟であります。

尚、会報の発行日は、4月1日・7月15日・1月25日の年三回とし、現役チームの状況報告並びにOB間での情報交換促進を中心にして編集してゆく予定です。

